

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区 2R-4Z

西条ライオンズクラブ会報誌 No.484

西条



2017-2018

10

会長スローガン

「忘己利他の精神で We Serve」

キーワード

「 ころのかたち 」

TOPIC

4Z合同例会開催

2017-2018 年度 ライオンズクラブ国際協会会長

ナレシュ・アガワル

「 We Serve 」

テーマ

国際協会ビジョン声明文 『地域社会と人道奉仕におけるグローバル・リーダーを目指す』
ライオンズクラブ国際協会使命声明文

『 ライオンズクラブを通して、ボランティアに社会奉仕の手段を与え、人道的ニーズを満たし、平和と国際理解を育む 』



2017-2018 年度 336-A地区

「 Service Activity is the key to Lions Clubs 」

スローガン

(ライオンズクラブのキーは奉仕することである)

2017-2018年度 ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー

川 辺 信 郎

「 新世紀・明日につなごう 奉仕の輪 」

スローガン



「 初心 」

キーワード

地区ガバナー公式訪問

報告者 森下雄一

【出席者】	会長 幹事	植木光夫 森下雄一	第一副会長 会計 会員委員長	高橋雅頭 高橋 学 明比紳一郎
-------	----------	--------------	----------------------	-----------------------

9月2日(土)、四国中央市 ホテルグランフォーレにて、ライオンズクラブ 336-A 地区 2R 地区ガバナー公式訪問が開催されました。

キャビネットからは、川辺信郎地区ガバナーをはじめ8名の方が来訪されていました。地区ガバナー並びに地区役員、地区委員、各クラブの紹介の後、地区ガバナーより挨拶がありました。336-A 地区においては、少子高齢化による人口減少または経済状況の低迷下、変動等の影響を強く受ける状況となってきた昨今、会員をいかに増強し、会員維持を図るかは永遠の課題であるとのこと。

336-A 地区のさらなる「ステップアップ」と「スモールキャビネットの創成」を目指し、全力で取り組みたいとのこと。

その後の各クラブ会長の今年度目標と抱負の発表におきましては、折角の機会にもかかわらず、時間の都合上、各クラブ2、3分しかなかったため、そのことが少し残念ではございました。



ライオンズクラブ国際協会336-A地区2R 地区ガバナー公式訪問
平成29年9月2日(土) ホテルグランフォーレ

台風18号上陸前夜、9月16日(土)13:00～、徳島県総合福祉センターにて「GMT・FWT研修会」に植木会長と伴に受講して参りました。研修会参加者計259名、会場・駐車場の広さは西条商工会議所4F(例会場)駐車場とほぼ同じ広さ。周辺の駐車場を探すのに遅刻者続出、主催者側の国旗の会場持込忘れ、昼食抜き、そして雨、他……。しかし開催側の苦労もあろうかと気を取り直し、研修会に参加。336-A地区全域の参加であり、台風接近の関係で4時間の研修予定が1時間短縮され、16:00に閉会、研修会内容より他の事が記憶に残る1日となりました。会開催の下準備の大切さも受講させて頂いた様です。さて、来年は……?

【FWT研修会】 **FWT・・・Family and Woman Team**
 講師 小川晶子 FWTエリアリーダー(東日本担当)
 東京ウィルライオンズクラブ
 ロリヤル開発(株)代表取締役
 内容 家族及び女性チームの責任(会員増強)

【GMT研修会】 **GMT・・・Global Membership Team(グローバル会員増強チーム)**
 講師 山地章靖 元地区ガバナー、地区名誉顧問
 GMT・GLT・FWTコーディネーター
 内容 GMT・GLT・FWT会則委員会活動方針
 1R～9R 各リジョン会員増強計画発表



9月第2例会

4Z合同例会並びに2RCはじめ地区役員・地区委員例会訪問

報告 植木光夫

開催日時 2017年9月20日(水)18:30より例会開始
 開催会場 ドリーマーベルフォーレ西条

ここ最近では毎年の恒例開催となっている「4Z合同例会」が当クラブをホストとして今年も開催されました。2R内の地区役員・地区委員の皆様にも来訪いただき、西条市内の4クラブ100余名の会員が出席した大規模な例会となりました。次年度には、4Z始まって以来初となる地区ガバナーに関野邦夫(東予LC所属)氏がなり、次期キャビネット事務局もその準備に少しずつ慌しい動きが見られる今こそ、ゾーン内が手を取り合い、知恵を出し合い、心に残るものにする為にも今回の合同例会は意義深いものであったと思われました。

【4Z 合同例会出席者による集合写真】



各クラブ順に例会を開催



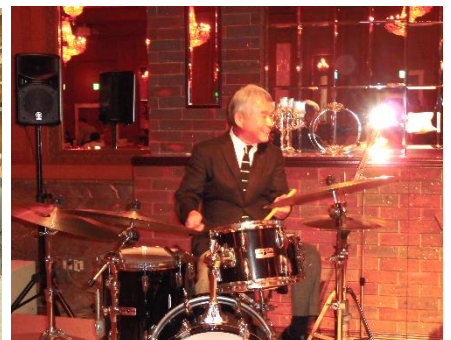
次期キャビネット役員の紹介



懇親会ではメンバーご厚意による「マジックショー」で場を盛り上げ



JAZZ演奏が会場をしっとりとした大人の雰囲気仕上げていただきました

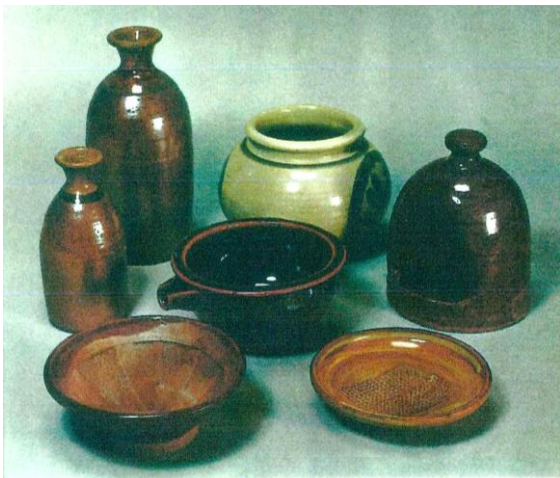


民芸の旅



越智英明

恒例の愛媛民芸協会主催の研修旅行に今年も参加した。
 今回のメインは、高知県立高知城歴史博物館と郷土の焼物、内野原焼の見学である。
 歴史博物館は今年の3月にオープンしたばかりで、見るからに立派な三階建ての建物で、特に耐震装置がすごかった。
 「土佐から日本が見えてくる」をキャッチフレーズに、国宝、重文など含め、約6万7千点の品々が収蔵されている。
 中でも先頃話題になった、新発見資料、坂本龍馬書簡が目を引きいた。
 この先、年間を通じて、テーマや季節にそった企画展や催し物を開催するという。
 また折からの晴天にも恵まれ、2階からの高知城の眺めは素晴らしかった。
 昼食を安芸市内でとった後、野良時計、武家屋敷などを見てまわり、内野原地区にある陶芸館に向かう。説明によると、内野原焼は文政年間、このあたり一帯を治めていた、山内家の家老 後藤氏が京都から陶工を招いたのに始まるという。
 最盛期には窯元も20を越えたが、現在は野村窯と福留窯のみである。
 主として、日用雑器が中心だが、特に野村窯の「鳥の水呑み」は広く全国に知られていたが、現在は需要がなく作られていなかった。今回参加者の多くは、これがお目当てだったのに本当に残念だ。



高知県・内野原焼 右上の釣鐘様の容器は鳥の水呑み(野村窯)

内原野ガラス工房

ゆっくりと時間をかけて溶かした
 軽長いガラス棒から丸いトンゴ玉ができる...
 世界に一つだけのガラスの小物
 そんな不思議な体験がここからできます



ライトブラストのガラス・ロウソク

慶応二年(八六六)十二月四日 坂本権平一同宛て 龍馬
 父八平の命日であるこの日、龍馬は三通の手紙を書いた。二通目は、姉乙女に宛てた有名な霧島旅行の輸入り手紙。一通目は、兄権平に宛てたもので、「国家の難に臨む際には必ず、家宝の甲や刀を分け与えんと聞きます。兄さんに見立て、何か送ってくれないかと刀をねだる手紙。三平の選んだ刀が進行で、龍馬が暗殺される時に持っていた刀だと考えられる。そして三通目が、今回の新発見の手紙で、兄権平一同宛て。表は六福と推測できる。この手紙は冒頭に親類の方などに同せる際は必ず誰か書かして、その書かしていただいた。原本は乙女御さんか持っていた方不明で、澄心堂という人物が写した物が現存している。澄心堂という人(さし)については詳細不明」とうが今回、明治二十年(八九八)に北海道(今の八坂本家)子孫よりあるお家から、原本の部分が送られた。写し比べると全体四割程度ではあるが、龍馬が送ってきたまの状態で残っていたとは大変貴重である。
 長文の手紙の前身は、慶応二年の終りまで、目的薩長連合実現直後に寺田屋で読まれたこと、七月の第二次長門戦争で下関海軍に参加したこと、坂本家の家老清次郎が武士道を説いて聞かされた旨、幼なじみの池内龍太が海難事故でなくなったこと、天下の人物論、去年頼んでいた家内族皆が読んだ和歌の短冊を忘れずに送って欲しいなど多岐にわたる。
 発見された手紙の原本は、字の対応箇所とはほぼ一致している。しかし、細かい点では異なる。平仮名が多かったり、ルビが振られていたり、同じ事を繰り返して、枚目・枚目の細かな配属や強調したい部分がかかり、心情をより深く読み取ることができ、七月の第二次長門戦争で下関海軍に参加したこと、坂本家の家老清次郎が武士道を説いて聞かされた旨、幼なじみの池内龍太が海難事故でなくなったこと、天下の人物論、去年頼んでいた家内族皆が読んだ和歌の短冊を忘れずに送って欲しいなど多岐にわたる。
 (文:高知県立坂本龍馬記念館 三浦夏樹)

慶応2年12月4日に坂本家へ送った手紙一覧

- ① 姉・乙女宛て龍馬の手紙(京都国立博物館所蔵)25.0×169.0 霧島旅行の報告。
 - ② 兄・権平宛て龍馬の手紙(原本不明、写しは個人蔵)先祖ゆかりの刀をねだる内容。
 - ③ 兄・権平一同宛て龍馬の手紙(高知県立坂本龍馬記念館所蔵)25.0×580.0(推定)
- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
- ④ 満洲広の丞宛て龍馬の手紙の下書き(高知県立高知城歴史博物館所蔵)15.9×60.0
土佐藩上士が龍馬に接触しようとしているのを知り、土佐藩と手を結ぶことを想定して自分の存念を書き記した11月の手紙の下書き。
 - ⑤ 龍馬宛て寺田屋お登勢の手紙(原本不明、写しは個人蔵)
③の手紙で、寺田屋連難事件に絡めたので、世話になった寺田屋女将・お登勢の人柄を紹介する意味で手紙を同封。
 - ⑥ 龍馬宛て桂小五郎の手紙(京都国立博物館所蔵)19.5×99.5
薩長連合讀書きのお礼と寺田屋連難のお見舞いの手紙が手元にあり、「桂の筆跡は皆が欲しがるので送ります」と③の手紙に書いてある。

新発見資料 坂本龍馬書簡 龍馬のいちばん長い手紙

慶応二年(八六六)十二月四日
 坂本権平一同宛て 一通(断簡)全六枚
 高知県立坂本龍馬記念館蔵

また、陶芸館の脇にはガラス工房が新設されていた。各コースに依る体験教室の様式で見本の品ばかりであった。時間があれば「トンゴ玉」に挑戦したかった。
 この後、岩崎弥太郎の生家を見学し、帰路についた。



■ 心に残る思い出の一品 ■

[Ver. 5]

松浦 裕

中学3年の時と思うが、西条市市民軟式庭球大会（今のソフトテニス）中学生の部で個人優勝した時のカップです。

10センチに満たないちゃちで粗末な物ですが、その後のテニス人生の中で獲得した唯一の優勝カップとなり、未だに捨てることができません。



■ 心に残る思い出の（大切な）一まい ■

[Ver. 6]

山本新一郎

今は昔、次女の七五三詣りでの一コマ。神様からの預かり児が私の子となり、娘二人の親になった時です。「どうです、かわいいでしょう？」と親バカ丸出しですが、「パパ、パパ」と纏わりついて困るほどでした。今となっては遠い日の出来事・・・。

編集後記



雨の音で目が覚め、時は朝5時です。外の朝は肌寒い静かな朝です。趣味で飼っているアメゴ・黄金ニジマスの養殖場の餌をやりに行く日で、手早く朝食の準備を済まし、編集後記を書いています。

ここ数日前からの爽やかな秋風と透き通る青空が見えて、秋の気配を一層深める過ごしやすい活動的な季節となりました。皆さんお元気ですか。仕事に趣味にスポーツにと、充実した毎日をお過ごしのことと思います。

今年の夏は全国的に記録的な猛暑と台風・豪雨で土砂災害など、被害が出た所が多くて、心が痛みます。

今年度、小野雅志委員長、太田正宏副委員長の元でPR広報委員会一同、皆さんの温かい御協力のもとに、クラブの発展とメンバーの御繁栄・御多幸・御健康を願い社会のニーズに応えて、尚一層の

「We Serve」の精神で、奉仕活動に頑張っていきたいと

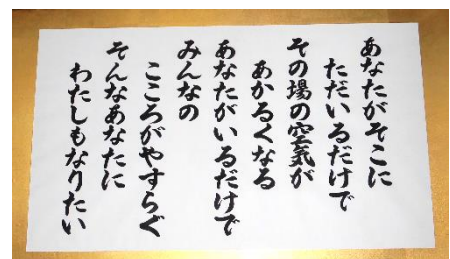
思っております。PR広報委員会に対しまして、原稿依頼の折には

温かい心、思いやりの心、優しい心で御協力を宜しくお願い致します。

“あなたのおかをお貸ください”

会員の皆様と御家族様の御多幸・御健康をお祈り申し上げます。

PR・広報委員 塩崎己年夫



優しい母を思い出し、坂村真民記念館を訪ねて・・・

発行者 会長
幹事
PR・広報委員長
編集委員

植木光夫
森下雄一
小野雅志
太田正宏・塩崎己年夫・伊藤孝司
寺尾信司・山本新一郎・日野 求

例会日 毎月 第1・第3火曜日 (12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8

西条商工会館3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail saijo-ic@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ http://saijo-lions.jp

facebook http://facebook.com/saijo.lions/